

20th
Anniversary

あわおんな

阿波女 あきんど塾

a w a
o n n a

2016 Vol.23

阿波女あきんど塾20周年記念誌
「徳島の女性経営者
100人に聞く」発刊

阿波女あきんど塾の
キャストが語る徳島の未来

20周年記念 シンポジウム

第一部 阿波女あきんど塾リーダーによる基調講演

「徳島だからできた 阿波女起業家のしなやかな挑戦」

第二部 阿波女あきんど塾キャスト、市長、徳島県内の大学生によるトークセッション

「ここから始まる、夢を実現する徳島」



阿波女あきんど塾 これまでの歩み 1995 > 2015

1995

AWAおんなあきんど塾を発足

平成7年8月、女性の社会進出を促進する環境づくりの一環として、女性の経営者としての知恵とアイデアを活用するため、徳島市内の各業界の女性経営者10人に徳島市が参加を呼びかけ、「AWAおんなあきんど塾」が誕生

1996

- シンポジウム開催
「女性とビジネス「起業」を考える」
 - 女性起業家育成セミナー 開催
 - ステップアップセミナー 開催
 - ビジネスメッセ出展
- 女性が起業する際の金融支援を市へ提言し、全国初となる女性起業家育成資金制度を制定

1997

- シンポジウム開催
「ビジネスを変える女性起業家とそのパワー」
- 女性起業家育成「たまごセミナー」開催
- 徳島ニュービジネスメッセ出展
- 起業家を育てる「メンター講座」開催

1998

- 女性起業家育成
「フォローアップたまごセミナー」開催
- メンター活動推進研究会議 5回開催

1999

- 女性起業家育成
「たまご」セミナー&メンター講座 開催
- 女性起・企業家四国大会参加

2000

- 「オープンあきんど塾」5回開催

2001

- 「AWAおんなあきんど塾成功塾」5回開催

2002

- 「誌上くるま座サロン」実施

2003

- 「くるま座サロン」2回開催

2004

- 「メンターになろうよ!」講演会 開催
- 「スポーツビジネスに関する講演会」開催

2005

- 出張講座
「Work for joy 仕事っておもしろい」開催

2006

- 出張講座
「AWAおんなあきんど塾キャストと語ろう! 起業とこれからの地域経済活性化」開催

2007

- 第22回国民文化祭協賛事業
「阿波おんな元気サミット」開催

2008

- 女性経営者のネットワーク「女あきんどネット」
「ぺちゃくちゃ問答塾」3回開催

2009

- 女性経営者のネットワーク「女あきんどネット」
「ぺちゃくちゃ問答塾」2回開催
- 女あきんどネット発足

2010

- 「女あきんどネット勉強会」開催
- 「きらめく女性大賞」創設

2011

- 東日本大震災復興支援プロジェクト 始動
・4/24 「チャリティーバザー」開催
・5/29 「宮城・仙台復興応援物産市」開催
・12/11 KIZUNAフェスティバル東北物産市 応援参加
- 「きらめく女性大賞」開催

2012

- 東日本大震災復興支援プロジェクト
・7/8 「宮城・仙台復興応援物産市」開催
- 「第3回 きらめく女性大賞」開催

2013

- 「第4回 AWAおんなあきんど大賞」開催

2014

- 「パワーアップ勉強会」3回開催

2015

- 20周年記念シンポジウム開催
- 四国大学 出張講座
- 阿波女あきんど塾20周年記念&『徳島の女性経営者100人に聞く』出版記念パーティー開催

ごあいさつ



阿波女あきんど塾 創設メンバー・初代座長
平成27年度 阿波女あきんど塾リーダー
株式会社クラッシー 代表取締役

植田 貴世子

徳島の今とこれからの想い、議論し、行動を起こし、徳島の街に埋もれる「元氣」をひとつずつ、ひとつずつ掘り起こして来た、そんな実感を結成から二十年を数える今、阿波女あきんど塾メンバーは持っています。

時代の力、少子高齢社会の波にのまれたそんな地方の『負』の部分も抱えつつ、でも笑顔は消えることなく、いつも現実を見据え、未来を語り合ってきたものです。

私達が何かを残せたとすれば、それは人の心に『女性性の力と勇気』『男性と女性が協働する社会の美しさ』を刻んだことではないでしょうか。

それは高度成長期に数々造られたソフト不在の施設達とは違い、人の目に直接触れるものではありませんが、確実に人の心に触れる『やる気スイッチ』であるように思えます。

今の日本は、経済至上主義と中央集権の賜物と、それが故に失ったもの、つまり価値と欠落が往來する、どっちつかずの社会模様さながらです。中でも、賜物を得るより失ったものの方が多い地方は、人が減り、人の居ない建物だけが街のあちこち

に居座り、街の活気とやらが日々失われていく様子が見てとれます。

でも考えてみれば、人の供給、食べ物、中央集権を支えてきた地方には、まだまだその底力は残っているのではないのでしょうか。

自分の価値を差し出すことに終始して、それを自分達のために活かす習慣が消え失せてしまっただけで、資産が全く消滅したわけではありません。

何よりも大事なことは、地方に住まう私自身が自らの故郷を諦めない自らの故郷の力を信じる、徳島にはな〜んも無い・と言わないことではないでしょうか。

海、山、畑そして空の幸に溢れていて、人が人として普通にその人ならではの価値創造活動が出来て、その事に理解を示す社会があつて、この徳島がその強みひとつひとつを確かなものにできるよう、徳島に住まう私達ひとりひとりが、真剣にふるさとのことを考えることができたなら、私達の未来は明るいものになります。

ましてや、きらめく女性の里である徳島は、女性活躍推進法がそのまま活かされるだけの土壌があります。

私達にきつと輝く未来がやってくると信じて、阿波女あきんど塾はこれからも徳島市の活性化のために心を砕き、知恵を絞り、汗を流して行きたいと思えます。



● 20周年記念シンポジウム
飯泉嘉門徳島県知事 祝辞



● 20周年記念シンポジウム
阿波女あきんど塾キャスト、市長、
徳島市内の大学生によるトークセッション



阿波女あきんど塾20周年記念＆「徳島の女性経営者100人に聞く」出版記念パーティー

あわおんな

阿波女あきんど塾 20周年記念 シンポジウム

きらめく阿波女がつなぐ、
徳島のこれから参加人数
156名日時:2015年11月7日(土) 18:30~ 開催
場所:ふれあい健康館 ホール

阿波女あきんど塾リーダーによる基調講演

第1部 「徳島だからできた 阿波女起業家のしなやかな挑戦」

株式会社クラッシー代表取締役社長 植田 貴世子

私の30年の起業人生の一端を少し紹介させていただきます。
1986年創業以来、育児・家事・介助など暮らしサービスのご提供と、その知財の販売に努めてまいりましたが、これまでの展開の途上で気付いた…というか、徳島発であることに感謝したことが4つあります。

成り立ちは、徳島という限られた市場での事業ですから、その限られた同じ市場に対し多品種で闘わないと企業を維持できません。自ずと多様な商品を持ち、また産み出す力が組織内に培われ、それが今にとでも生きています。徳島という地方のCommunity Business発だからこそ、たくさんの商材、すなわち武器を備えることができていたわけです。特に我々は豊かな日常「ほっこりした家庭の時」の価値を提唱する企業ですからなおさらなのですが、「ほっこり、たっぷりの徳島」だからこそ、暮らし感が磨かれました。加えて、互恵社会在る徳島だからこそ、人と街と社会とつながる事の本当の価値を市場に向かって体現できたのです。

今、多くの経済学者達がこぞってLearn Local Thinker Act Global地方に学べ!と言っています。今こそ地方の時代であると、私は地方発であることに大なる自信と誇りと、そして感謝の念を抱いています。生活価値復権!互恵社会再現!日本を日本に取り戻すという大きい夢を企業の目的として「手を伸ばせば助けてくれる、支えてくれるサービスインフラがある街づくり」を事業目標に掲げ、小さい小さい一歩を毎日少しずつ積み重ねています。今在る経済社会常識は、未来の非常識になりうることもある。そもそも常識は単なる慣習であることが多いので、常識すなわち大勢に迎合することなく、自らには、違いを恐れない勇気を言い聞かせ、社会には、違いを否定しないやさしさを要請しつつ、私は、心の中でいつも「女性性よ、立ち上がれ!」と叫んでいます。

また、私達あきんど塾の活動を振り返ってみますと、この20年必ず行ってきたのは、議論を深め、その上で意思決定をし、全員による共通認識を図り、自らもたらした結果を過少



評価せず、また過大評価でもなく、冷静に客観的に正しく評価して、その結果の検証を次に活かすことです。その一年、一年の積み重ねが、今日につながっているような気がいたします。

あきんど塾は、徳島市の理解とバックアップのもと、さらに行動の輪を県、国へとやわらかに広げつつ、これからも女性ならではの知恵と感性と発想力、そして阿波女ならではの活力としなやかさで、私達のふるさとを、さらにチャーミングな街にしていきたいと願い、凛として、徳島に在り続けたいと思います。皆様には、これからも引き続きあきんど塾への支援とあたたかいご理解、そしてパワーを賜りたく。今年度のリーダーとして、そしてあきんど塾キャストともども、この場をお借りしてお願い申し上げます。

女性も社会の、時代の重要な構成要素との想いに立脚し、社会にお役立ちしたいと念じつつ、今日のお話を終了いたします。

これからも、株式会社クラッシー、そして、もちろんきらめく阿波女あきんど塾をよろしく願いいたします。

オープニングセレモニー



来賓 徳島県知事 飯泉 嘉門 / 四国経済産業局 総務企画部長 黒川 陽一郎
 徳島経済研究所 専務理事 田村 耕一 / 一般社団法人 徳島新聞社 理事社長 植田 和俊
 NHK徳島放送局 局長 木下 千里 / 四国放送株式会社 取締役編成局長 岡本 和夫
 株式会社徳島銀行 法人ビジネスセンター センター長 西村 博

第2部

阿波女あきんど塾キャスト、市長、徳島県内の大学生によるトークセッション

「ここから始まる、夢を実現する徳島」

徳島市内の3つの大学からゲストに迎えた大学生



徳島文理大学
人間生活学部
児童学科4年

岸本 史保里さん



四国大学
経営情報学部
経営情報学科4年

大野 恵美子さん



徳島大学
医学部
医学科6年

赤池 瑠子さん



阿波女あきんど塾は、行動指針のひとつに「徳島の未来を担う若者の支援」を掲げています。

近年、国をあげて「地方創生」への取組みが行われ、都会から地方へと人の流れを変えようとしています。しかし、多くの若者は、生まれ育った地方では夢を実現することができないという思いから、都会への憧れを抱いているのが現実ではないでしょうか。

シンポジウムの第2部では、これから社会に出て働く立場である徳島市内の大学生3名をゲストに迎え、市長とともにトークセッションを行いました。

徳島に根ざして生活と仕事をしている阿波女あきんど塾のキャストならではの視点で、成功談・失敗談などを交えながら大学生からの質問に答え、本音で語り合いました。

徳島には、女性が活躍している風土があり、生活と仕事を両立しやすい環境があります。徳島の未来を担っていく若い力を存分に発揮することができるよう、これからも阿波女あきんど塾は、若者と一緒に考え、行動してまいります。



(前列左から) 西川陽子 / 青江文 / 板東美千代 / 高畑富士子 / 植田貴世子 / 立川真季 / 高木博代 / 坂田千代子 (後列左から) 今城実紀 / 北野多津子 / 赤池瑠子 [徳島大学] / 岸本史保里 [徳島文理大学] / 大野恵美子 [四国大学] / 高岡慶子 / 立木さとみ

阿波女 あきんど塾キャストが語る



平成27年度リーダー
(株)クラッシー 代表取締役社長
植田 貴世子

生活総合支援(育児/家事/介助サービス)企業として、暮らしの価値と向き合ってきた、その仕事柄、上質の暮らしの要素に恵まれたこの徳島への誇りを支えに、三大都市圏での事業展開に挑んでまいりました。街が抱える課題を、そのBusiness Seedsとしたコミュニティービジネスが暮らしのSafetyNetとして存在し、企業と街とそこに住まう人々が“つながり”を感じながら、心豊かな日々を過ごす… 徳島には、そんな未来が待っているはず。大事なことは、私達自身がふるさとの真価を見逃がさないこと。徳島を想い、徳島ならではの幸福のかたちを、ここに住まう私達が体現し続けることだと思うのです。



平成27年度サブリーダー
(株)ときわ 代表取締役社長
高畑 富士子

私が考える徳島の未来は、緑豊かでゆったりと過ごせる美しい街です。四季折々に変化する豊かな緑に囲まれた景観は、落ち着きや親しみやすさを感じるだけでなく、その木陰は夏の暑さを和らげてくれます。また、美しい水辺にはサイクリングやアクティビティ、イベント開催により人が集まり、コミュニケーションを育みます。こうしたグリーンインフラの整備を行い、自然と人が共に暮らす街づくりを推進することで、「ああ、ここに住んでいて幸せだ」と思える街になればいいと思います。



平成20年度リーダー
(株)あわわ 会長
坂田 千代子

徳島は女性が日本一活躍できて、子供や高齢者にやさしい街。気候は温暖で美しい自然に恵まれ、食べ物が美味しいことと穏やかな県民性に魅せられて、まずは観光による交流人口が増え、さらに暮らす人口が増える、と思います。そんな未来を実現するためには、女性と子供と高齢者にやさしい徳島ならではの街づくりを実現し、全国へ発信し続けることが大切だと思います。コンパクトシティ、水辺の街、保育・介護の充実、明るい未来に向かって、ここで暮らす「人」が歩み出しましょう。

徳島の未来



平成21年度リーダー
(有)ケイ・トップス 代表取締役
高岡 慶子

私 たちを取り巻く環境の変化のスピードが緩みそうにない今、何年か前に策定された未来への構想を頑なに軌道に乗せようとしても意味がなくなってきています。こんな時代だからこそ、敢えて原点である日常の暮らしの中から自然発生的に創造される未来に目を向けるときなのではないでしょうか。私たちの世代が、徳島で暮らし働くことの価値を伝え、次の世代は自ずと新しい視点で徳島の未来を見出し、時代の流れに沿ったカタチでまた次へと繋いでいく—そんな徳島の未来図を思い描いています。ちょっぴり具体的なことを言えば、徳島市内のど真ん中に人の往来の核となるおしゃれなオフィス街とラグビー&サッカー専用の球技場が欲しいな(笑)



平成22年度リーダー
(株)ココア堂 代表取締役
立川 真季

地 方の人口減には歯止めがかからないのが現実です。U・I・Jターンを期待しても、働きたい企業や暮らしたい環境がなければ、なかなか人は地方に目を向けてはくれません。ますます淘汰される時代。日本中が正念場です。けれども、そこに必ずチャンスもあります。地域も企業も、ここにしかない宝(名物)を丁寧に磨いて、的確に確実に発信を続けることが大事なのは…

私見ですが、高品質の農畜産品、固有の文化、負けず嫌いで働き者の「阿波女」が、徳島の3大名物(?)だと思います。



平成23年度リーダー
オートクチュール板東 代表
板東 美千代

徳 島のすばらしさを歳を重ねる度に感じ、暮らしています。日常に自然を取り入れながら仕事も生活も楽しんでいます。都会の魅力もありますが、この居心地の良い空気が流れている場所と共に徳島の未来は続いて行くと信じています。都会からも移住したいと思って頂ける自然豊かな徳島でよい仕事が出来たら最高ですね。全国の人達に元気の良い素敵な徳島の女性たちをもっと知ってもらい、のんびり、少しゆっくりゆつりのある暮らしと共に未来に向かって行きましょう!

徳島の未来



(株)ラパンセジャパン 代表取締役社長
今城 実紀

【Tをはじめとした技術革新によって、仕事を行う「場所」にこだわらずに、事業展開ができる時代が来ました。徳島にいながら世界に向けて、情報発信をしたり、ビジネスを展開することがごく身近なことになっています。

けれども、その根っこのところでは、地元へ愛着を持ち、徳島というコミュニティで協力、共存していく精神を大切にこれからも「美」という「幸せ」を人に手渡して行きたいと思います。そうすることで徳島が美しく輝く阿波女でいっぱいになればいいなあと思います。



(株)ひまわり 常務取締役
大岩 明代

「働き輝く阿波女」は徳島の未来を明るく照らす太陽のような存在になればいいなと思います。徳島の未来を私たち女性経営者が明るく、楽しく、感動と、ときめきを持ってそれぞれの事業を発展させていくことで生まれる徳島の魅力を全国の皆様にこれからもアピールしていければ素敵だと思います。徳島すだち、わかめを使用した自社のコスメブランドも、もっと全国の皆様に愛されるよう発信し続けたいです。



(株)北野商事 代表取締役社長
北野 多津子

徳島においてモチベーションをアップさせることは大切なことです。徳島で働いている人が元気になると人間関係も良好になり生産性も高まります。

モチベーションを高めるために、一人ひとりが今日の目標を持ち、徳島をより良くするために1人ひとりが目標達成していくことが徳島の未来を明るくすると思います。

目標をかかげる事で市民の意識が少しずつでも変化できたらこんなすばらしいことはないですね。

阿波女 あきんど塾キャストが語る



平成24年度リーダー
(株)立木写真館 常務取締役
立木 さとみ

統計数字が示す未来は、徳島のような地方都市にとってキビシイものですが、それはあくまでも予測の話。実際の未来は、徳島に暮らしている私たちが「いま」をしっかり作りながら、「こうあって欲しい」方向へ舵を切っていくものだと思います。昔から、そしてこれからも、徳島の女性が百人百様、万人万様のやり方で、人生や仕事をイキイキとしなやかに生きること、徳島はますます自立した住んで面白い地域になるのではないのでしょうか。



平成25年度リーダー
モンド・ジャコモ(有) 代表取締役
高木 博代

5年前の東北大地震、徳島も被災した神戸淡路大地震、戦後すぐの昭和南海地震。また、大戦中の徳島大空襲…。私たちは、幾多の困難を乗り越え、今日を創造してきました。なぜ？そこには時代を生きる強い意志と希望があったからだと考えます。夢、情熱、感謝、思いやり、公平公正、使命感、無私など。これらの言葉や思いが徳島に生きる人の心に響く限り、いつも幸せや喜びが寄り添うようにして、未来は拓かれてゆくと信じています。



平成26年度リーダー
(有)アン・モデルエージェント 代表取締役
青江 文

女性が元気で働ける町、女性が輝ける町、徳島。生き活きとした女性像がどんなものなのか？私達あきんど塾のメンバーは常に考えています。徳島でもこんなに楽しめることがある！徳島だからこそこんなことができる！を少しでも多く創っていくことも徳島の未来を明るくすることになるのでは、と思います。

柔軟性があって粘り強い阿波おんなの性質を活かし、女性ならではの視点で“多くの楽しい！”を届ける一員でありたいと思っています。郷土愛を大切に、そして発信できるそんな街の未来は素晴らしいと思います。

阿波女 あきんど塾キャストが語る徳島の未来



(株)茜庵 常務取締役
西川 陽子

人口減少、少子高齢化を避けることのできない地方都市。30年後にはおよそ半分の人口になると推測されています。

では徳島の未来をどう考えるか？

温暖な気候の徳島は、年間を通して家に閉じこもることなく活動ができます。まずは自立した元気な高齢者、働き者のおばあさん率日本一を目指す。そして高校卒業時、『徳島はこんなところ』という授業を行い、「阿波踊りと、すだちと若布が有名。後、何もないとこです。」ではなく、自分の故郷を自慢できる子供に育てる。また都会で学んだ若者の知恵やノウハウを故郷に提案し、元気な高齢者がそれを支援するという循環を創る。その結果、住民の幸福度日本一を目指すというのはどうかなあ？



(株)本家松浦酒造場 代表取締役社長
松浦 素子

先人達が築いてきた様々な功績、徳島に当たり前にあると考えられているモノ・コトに対して、より価値を感じ、より進化させている社会になっているのではないのでしょうか？他国や他県を真似るのではなく、自ら持っている宝に気付き、誇りに思い、より創造的に、発信していく流れが加速しています。人・自然・食・文化・産業など、多方面で「徳島はスゴイぞ!」と考え、発信し続ける企業・市民・県民の皆さんの想いが溢れ、一人一人の人生を活かせる徳島を想像しています。

数字で見る 阿波女 (データ引用※「徳島の女性経営者100人に聞く」)

女性社長比率(帝国データバンク調べ)

2010年、2012年 **全国1位** / 2014年 **全国3位**

管理職に占める女性の割合

全国1位 (2012年 経済産業省)

都道府県審議会等委員に占める女性の割合

7年連続全国1位 (2015年 内閣府調査)



平成27年度の活動内容

2015

- 04.28 運営会議(徳島市役所会議室)
- 05.19 運営会議(徳島市役所会議室)
- 06.23 運営会議(徳島市役所会議室)
- 07.22 運営会議(徳島市役所会議室)
- 08.03 運営会議(徳島市役所会議室)
- 08.21 運営会議(徳島市役所会議室)
- 09.14 運営会議(徳島市役所会議室)
- 10.19 運営会議(徳島市役所会議室)
- 11.07 20周年記念シンポジウム(徳島市ふれあい健康館)
- 12.02 運営会議(徳島市役所会議室)
- 12.07 「徳島市創業支援事業計画」出張講座(四国大学)
- 12.17 20周年記念誌座談会



2016

- 01.19 運営会議(徳島市役所会議室)
- 02.18 運営会議(徳島市役所会議室)
- 03.26 阿波女あきんど塾20周年記念&
『徳島の女性経営者100人に聞く』出版記念パーティー

平成27年度 阿波女あきんど塾の活動を振り返って

徳島は頑張る女性が育ち・成長する土地柄です。民間信用調査会社がまとめている社長分析調査でも、県内の社長数全体に占める女性の比率は、常に全国トップクラス。

こうした地域の特性を生かし、女性の社会進出を支援しようと、各業界の女性経営者とともに、平成7年に「AWAおんなあきんど塾」を結成しました。以降、徳島市と協働で地域経済活性化に向けた取り組みを展開しています。

今年度、あきんど塾20年の活動の記念として、シンポジウムの開催、記念誌発行、20周年記念パーティーの3つの事業を展開しました。

今後も、頑張る女性が夢を叶えられるような創業の支援に取り組みとともに、女性らしい視点やアイデア、積極的な行動力で様々な分野にチャレンジしてもらえよう、多様な事業に取り組んでいきたいと考えています。



平成27年度サブリーダー
(株)ときわ 代表取締役社長
高畑 富士子



阿波女あきんど塾20周年記念誌

「徳島の女性経営者100人に聞く」発刊



このたび、阿波女あきんど塾結成20周年を機に、記念誌「徳島の女性経営者100人に聞く」を発刊しました。

徳島で活躍する女性経営者100人を紹介するとともに、同塾20年のあゆみや実績、今年度行った記念事業を掲載しています。

取材した女性経営者の皆さんがさらに元気になり、本を読んだ方が「起業したい!」「わたしにもできる!」と地域の女性のパワーアップにつながっていくことを期待しています。

私たちは、女性の前向きなチャレンジを応援し、徳島市の魅力あるまちづくりと地域経済の活性化を目指します。



【阿波女あきんど塾】(左から) 西川陽子 / 板東美千代 / 立木さとみ / 立川真季 / 高畑富士子 / 高木博代 / 植田貴世子 / 高岡慶子 / 坂田千代子 / 北野多津子 / 大岩明代 / 今城実紀 / 青江文